

ATWS2023開催に係る調査報告書

令和5年1月



アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会

実施計画の目的・ATTAの視察結果	2
(1) ATWS2023 開催概要	4
(2) ATWS2023 開催までのスケジュール計画	5
1 会場	6
(1) メイン会場の概要	7
(2) 札幌コンベンションセンターフロアプラン計画	8
(3) インターネット環境計画	10
(4) 映像・音響機器計画	11
(5) イベントチェックイン計画	12
(6) ランチ計画	13
(7) コーヒーブレイク計画	14
(8) 食事制限等の配慮計画	14
(9) おもてなしプログラム	15
(10) 出展者のための発送方法・通関情報計画	16
(11) 会場のセキュリティ計画	16
(12) 会期中保険について	16
(13) 会場のコロナ対策計画	17
2 レセプション	18
(1) レセプション計画	19
(2) ウェルカムレセプション計画	20
(3) オープングレセプション計画	21
(3-1) オープングレセプション計画/会場	21
(3-2) オープングレセプション計画/アトラクション	22
(3-3) オープングレセプション計画/食事	23
(3-4) オープングレセプション計画/既存施設利用と雨天時対応について	24
(4) オープングレセプション輸送計画	25
(5) クロージングレセプション計画	27
3 交通	28
(1) 完全招待者の航空券手配業務について	29
(2) 成田空港での完全招待者対応	30
(3) 新千歳空港での完全招待者対応	30
(4) 新千歳空港インフォメーション計画	30
(5) 札幌コンベンションセンターへの輸送計画	32
4 アドベンチャー	33
(1) DOA輸送計画	34
5 ホテル	36
(1-1) 招待者(93名)の宿泊計画	37
(1-2) 招待者(93名)の宿泊ホテル	38
招待者ホテルのサステイナブルな取組みについて	39
(2) 参加者ホテル計画	40
6 情報提供	41
(1) トラベルインフォメーション計画	42
(2) 日本査証（ビザ）取得サポート計画	42
7 VIP対応 8 スタッフ 9 ATWS2023の道民周知	43
VIP対応計画	44
(1) スタッフ配置計画	45
(2) ボランティアスタッフ配置計画	46
ATWS2023道民周知	47

調査報告書作成にあたって

アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット2023北海道・日本（以下、「ATWS2023」という）の開催にあたって、参加者が安心/安全に滞在し、満足していただけるよう、準備及び当日運営、終了までの概要を実施計画とし、まとめたものを調査報告書とする。

● 計画作成の要件

- ・アドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーション（ATTA）から示される契約書および資料の要件を満たすこと。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策に配慮すること。
- ・プレ・サミット・アドベンチャー（PSA）、デイ・オブ・アドベンチャー（DOA）、ポストサミット・アドベンチャー（POST-SA）にも配慮すること。
- ・イベントについては北海道らしく、記憶に残るような企画を提案すること。
- ・SDGsなど環境に配慮した運営を行うこと。

● 実施計画のポイント

作成にあたっては、ATTAからの要件、2022年11月に来札して会場等の現地視察を経た上でのATTA側からの要望を反映して計画を作成し、検討中の部分については、検討事項とする。また10月に開催されたATWS2022（スイス・ルガーノ）を視察した実行委員会の意向も配慮し、ATWS2023の開催に向けた調査報告書を作成する。

- 今後公表されるATWS2023のテーマをイメージできるイベント企画を意識すること。
- イベント全体に、北海道や日本の魅力が感じられるような工夫を行う。
- SDGsに配慮した運営を心がける。
- 日本で初開催となるATWS2023であることから、参加者の記憶に残る企画を盛り込む。
- ATTA側からの意向が未確定な部分および実行委員会で検討中の部分については、その旨を明記する。

ATTAによる事前視察

視察日程：2022年11月8日（火）から11日（金） 察

視察者： Casey Hanisko（ケーシー・ハニスコ）様：代表
 Hannah Pearson（ハンナ・ピアソン）様：アジア地区担当部長
 Wealey Ziegler（ウェズレイ・ゼッガー）様：イベント課長
 國谷 裕紀（クニヤ ユウキ）様：アジア地区事業開発課長



札幌コンベンションセンター視察



オープニングレセプション会場候補のユニークベニュー（大倉山）視察



クロージングパーティ会場や二次会の会場候補（キングムー）を視察

視察時の主な意見

●事前 サミットチェックインについて (9/10 (日))

- ・場所：雨天時に対応可能な大通ビッセが第1候補。難しい場合はホテルロビー等屋内が望ましい。
- ・時間：14:00～18:00 (4時間程度)。9/11のDOAの日はチェックインなし。

●DOAの出発場所について (9/11 (月))

- ・ランドマークであるテレビ塔周辺がわかりやすくこの場所を出発場所として欲しい。

●ウェルカムパーティについて (9/11 (月))

- ・日時：9月11日のDOA到着後に実施し、時間帯は18～20時が良い。
- ・場所：DOA出発場所であるテレビ塔周辺が良い。
DOA帰着時間がばらつき、一斉に集まるわけではないので、800人が入れなくても良い。
オートムフェストにその後行けると良い。
- ・内容：カジュアルスタイルで、エンターテインメントはなくて良い。通常は600人程度が参加する。

●オープニングレセプションについて (9/12 (火))

- ・日時：9月12日に実施し、18:00頃～の開始が望ましい。
※レセプション場所等に合わせてコンベンション終了時刻は、調整可能
- ・場所：札幌らしさ、北海道らしさを感じられる場所である大倉山が良い。
ホテルも一案だが、ホテルの場合は北海道らしさを感じられるに工夫が必要。立食が良い。
- ・その他：帰りのバスは時間差で出せるようにすると良い。
日本らしさを一番アピールできる場としたい。

●クローズングパーティについて (9/14 (木))

- ・札幌コンベンションセンターで開催後、キングムーに場所を移してダンスパーティーを開催したい。その他会場として、ビール園などが想定できるが料金を含めて今後検討したい。

●会場 (札幌コンベンションセンター) について

- ・明るく開放感があって良い。
機能は素晴らしいが、北海道らしさをアピールできる装飾などがあると更に良いと思う。
- ・大ホールは半分に分けて使用し、全面窓があり開放感がある方をマーケットプレイス会場、もう一方をプレナリー会場とする方向で今後検討する。
- ・ネットワーク会場配置や、各部屋に必要なAV機器は今後検討する。
- ・札幌コンベンションセンターに直通的のサイクリングルートがあるので、レンタルバイクでミニツアーができると参加者に喜ばれると思う。

●会場で提供するケータリング・コーヒーブレイクについて

- ・ランチは、buffetを4カ所程度設置し分散できるようにしたい。
また屋内だけでなく屋外にも食べる場所があると喜ばれると思う。
- ・ランチボックスの提供でも問題ないがその場合リユースできる容器が望ましい。
- ・個包装されたお菓子の提供は可能だが、サステイナブル的に望ましくない。
- ・アレルギー表示はピクトグラムで行う事で問題ない。
- ・朝はコーヒーの提供があると喜ばれる。また会場で朝食の提供は想定していない。

●完全招待者の宿泊について

- ・プレミアムホテルTSUBAKI札幌にスタッフ関係を60名程度、メディア30名程度は北海道が感じられ、サステイナブルな取組を先進的に推進しているザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園としたい。
- ・TSUBAKIは最寄の駅が遠くスタッフの移動が大変なためシャトルバス等での移動を検討してほしい。

●交通

- ・必須では無いが可能な限り鉄道PASS等の提供を検討して欲しい。その可否は北海道側に一任する。

(1) ATWS2023 開催概要

- 名称**：アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）
- 内容**：アドベンチャー・トラベル市場を牽引しているATTA(Adventure Travel Trade Association)が毎年1回開催する、AT(Adventure Travel)関連で世界最大のカンファレンス/商談会
- 参加者**：世界のツアーオペレーター・メディアを中心とした約800名の事業者が参加
- 期間**：本大会 2023年9月11日(月)～14日(木)
 ※9月4日(月)～10日(日)までPSA(Pre-Summit Adventures)実施
 (道内15コース・道外7コース予定)
 ※9月15日(金)～18日(月)までPost Summit Adventures実施
 (道北2コース・道東2コース予定)
- 会場**：本大会 札幌コンベンションセンター



		日程	メインイベント	会場
		9月4日(月) ～ 9月10日(日)	・PSA ・9月10日(日) サミット・ チェックイン	大通ビッセ
サミット期間	Day1	9月11日(月)	・DOA (道内31コース予定) ・ウェルカムレセプション	大通公園1丁目 (集合・帰着) 大通公園1丁目
	Day2	9月12日(火)	・サミットウェルカム ・キーノート ・ネットワーキング ・オープニングレセプション	札幌コンベンションセンター 大倉山ジャンプ競技場
	Day3	9月13日(水)	・マーケットプレイス ・キーノート ・ネットワーキング	札幌コンベンションセンター
	Day4	9月14日(木)	・メディアコネクト ・キーノート ・ネットワーキング ・クロージングレセプション	札幌コンベンションセンター 未定
		9月15日(金) ～ 9月18日(月)	・POST-SA	

(2) ATWS2023 開催までのスケジュール計画

ATWS2023 2023年9月11日(月)～14日(木)

計画	2023年度															
	13ヶ月 2022年8月	12ヶ月 2022年9月	11ヶ月 2022年10月	10ヶ月 2022年11月	9ヶ月 2022年12月	8ヶ月 2023年1月	7ヶ月 2023年2月	6ヶ月 2023年3月	5ヶ月 2023年4月	4ヶ月 2023年5月	3ヶ月 2023年6月	2ヶ月 2023年7月	1ヶ月 2023年8月	2ヶ月後 2023年11月		
計画					本「業務推進」に係る予算策定										最終確認	
機 器																最終確認
広 報																最終確認
プログラム																最終確認
コンベンション 実務																最終確認
レセプション・ 図書																最終確認
招待者控通																最終確認
SDGs 取組対応																最終確認
スポンサー																最終確認



1 会場

(1) メイン会場の概要

● 会場の要件（ATTA提示契約書より）

- ・ ATWS 2023の開催日の2023年9月11日～14日は全館貸し切りとすること。
- ・ 開催にあたっての準備、設営、ミーティング等のため9月9日、10日を貸し切りとすること。
- ・ 800人の全体会議を開催するための会場を確保すること。
- ・ マーケットプレイス用に150台以上のテーブルと各椅子3脚と電源を用意すること。
- ・ 50社が出展するグローバルパートナーブースを用意。
1ブースはカクテルテーブル（直径30インチ×高さ42インチ）、椅子2脚、電源を用意すること。
- ・ 食事 800名分を提供できるスペースを用意すること。
- ・ 50～300名のブレイクアウトルームを3室用意すること。
- ・ スピーカー、国際メディア用控え室50名収容×3室を用意すること。
- ・ ストーリーテリングチーム、メディア用控え室 20名収容×2室を用意すること。
- ・ ネットワークラウンジ（Meet me Here）：200名
- ・ 1600名が同時利用可能な高速ワイヤレスインターネット回線を用意すること。

詳細な仕様・数量については、会場図承認後にATTAから示される内容となる。

● 会場 札幌コンベンションセンター

住所：札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
建物：地上2階建て

	面積 (㎡)	最大収容人数
大ホール全面使用	2607	2500名以上
大ホール2分割 (A)	1438	1400名以上
大ホール3分割	846～880	800名以上
特別会議場	692	700名
中ホール全面	533	600名
中ホール2分割	266	300名
小ホール	240	193名
107、108、206、207会議室	164～175	180名
204会議室	283	320名
101、102、104、105、201、202会議室	83～86	80名
103、106会議室	49～50	16名(口の字)
205会議室	40	16名(口の字)
203会議室	21	8名 (口の字)
応接1	28	7名
応接2	32	7名

(2) 札幌コンベンションセンター会場計画

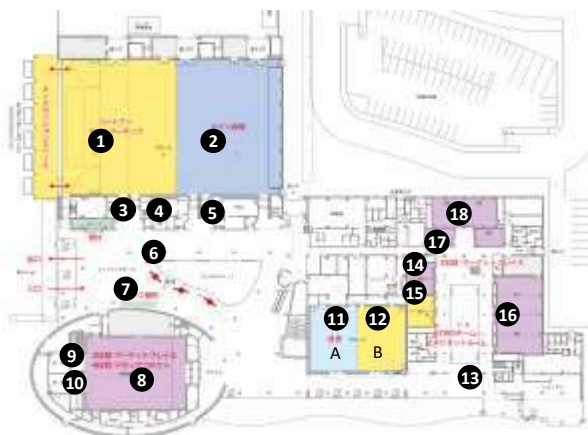
会場計画について

使用計画についてはATTAに以下のとおり提案しており、今後、各会場施設の使用に関してATTAから示される予定。

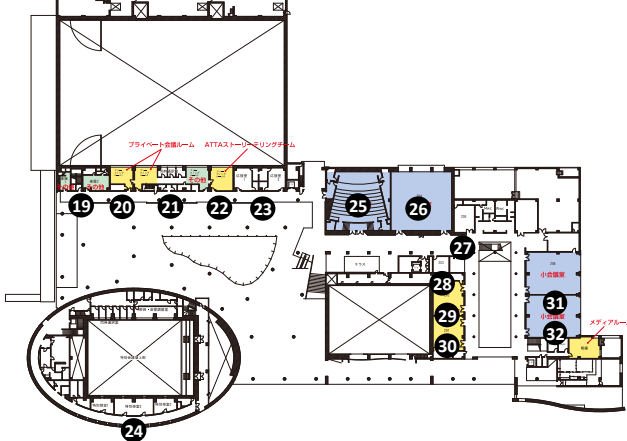
● 会場計画の要件 (ATTA提示 Game Planより)

- ・ 正確な図面 ・ 世界水準の映像 ・ 音響機器 800席のメイン会場
- ・ マーケットプレイスのミーティングテーブル 170台
- ・ メディアコネクト 16-20のテーブル+3脚のセット ・ 適宜電源を準備

使用計画：札幌コンベンションセンター1F



使用計画：札幌コンベンションセンター2F



No	会場施設名	使用用途
1	大ホール A	ネットワーキング
2	大ホール B・C	セッション会場 (全体会議)
3	主催者控室 1	主催者控室 (司会者など)
4	主催者控室 2	主催者控室 (記録など)
5	主催者控室 3	発表者打合せ場所
6	ウエルカムコート	ネットワーキング
7	エントランス	受付
8	特別会議場	マーケットプレイス、メディアコネクト
9	特別会議場控室 1	運営委託会社控室
10	特別会議場控室 1	主催者控室
11	中ホール A	昼食会場
12	中ホール B	ネットワーキング
13	レストラン	昼食会場
14	101 A/B	ATWSチームマネジメントルーム
15	102 A/B	マーケットプレイス
16	107・108	マーケットプレイス

No	会場施設名	使用用途
17	103・106	マーケットプレイス
18	104・105	マーケットプレイス
19	楽屋 1・楽屋 2	控室予備
20	ブリーフィングルーム 1	国・道・市控室
21	ブリーフィングルーム 2・3	国・道・市控室
22	ブリーフィングルーム 4	ATTA幹部控室
23	応接室 1・2	国内来賓控室
24	特別控室 1・2・3	経済団体長控室
25	小ホール	セッション会場 2
26	204	セッション会場 3
27	205	控室
28	203	控室
29	202	メディアルーム
30	201	メディアルーム
31	206	セッション会場 4
32	207	セッション会場 5

会場

メインとなる大ホール、中ホールのプランは以下の通り。

●メイン会場 大ホール 1/2B

ステージには大型スクリーン、3面以上を準備する必要がある。
参加者の座席は800席を確保し、途中参加者が席に付きやすい動線を確認すること。

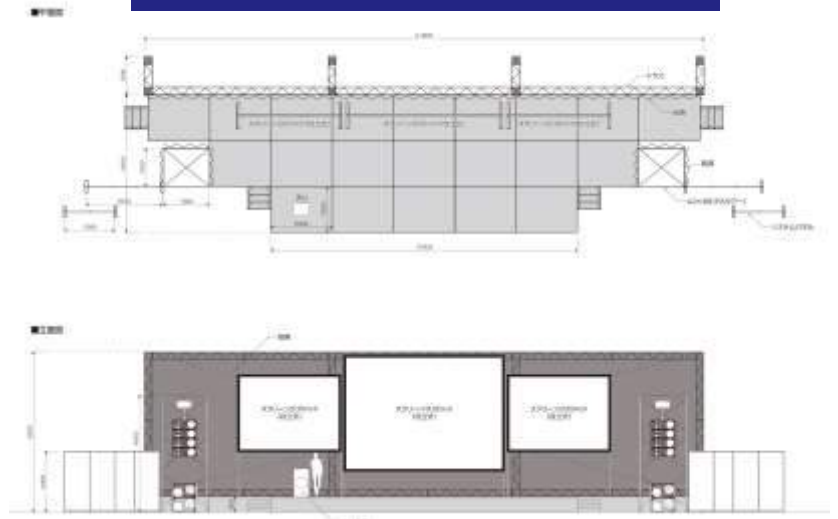
●大ホールA

ガラス側の大ホールAを使い、開放感あふれるネットワーキングエリアとし準備すること。
直接屋外にも出ることが可能なレイアウトを組む必要がある。

●中ホールA

昼食メイン会場としての利用を想定。
参加者へ料理の提供がスムーズに行える工夫が必要。
また、隣接したウッドデッキの使用も想定してレイアウトすること。

1F 大ホールステージ案



1F 大ホール



1F 中ホール



(3) インターネット環境計画

- インターネット環境の要件（ATTA提示 Game Planより）
 - ・ 1600名の同時接続が行える高速ワイヤレスインターネットアクセスを準備

インターネット回線について

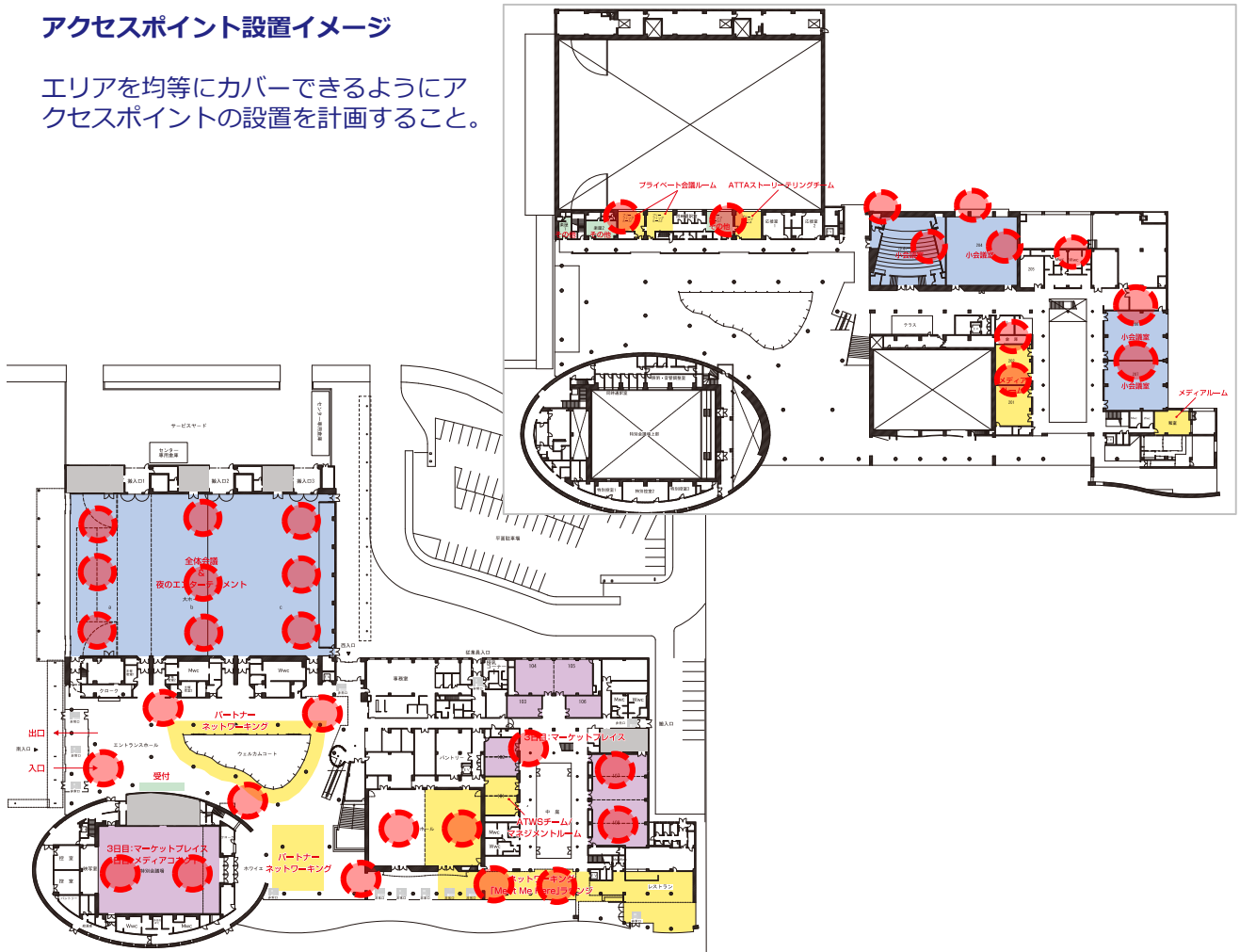
参加者がストレスなく利用できる安定したインターネット回線の準備・施工をすること。
 参加者用のWi-Fiを中心として1600接続規模を準備し、プログラム関連で使用するネットワーク回線についても参加者用Wi-Fiとは別に準備し、安定利用できるようにすること。
 使用するネットワークシステムはIPv6を使用し、1Gbpsの帯域以上を確保すること。

参考：札幌コンベンションセンター内のWi-Fi

札幌CC内には現状、札幌シティーWi-Fiのみのため、要件に満たないことから、専用回線を用いてアクセスポイントをセンター全域に設置する必要がある。

アクセスポイント設置イメージ

エリアを均等にカバーできるようにアクセスポイントの設置を計画すること。



(4) 映像・音響・照明機器計画**● 映像・音響・照明機器の要件 (ATTA提示 Game Planより)****【メイン会場】**

- ・映像・音響・照明を管理する英語対応可能な責任者1名とすぐに連絡がとれる技術者2名が必要。
- ・スクリーン：3つの大型スクリーン

16:9投影の大型スクリーンをステージ背面に準備 (LEDウォールが望ましい)

4:3投影の大型スクリーンが2面必要。

プロジェクターは各スクリーン用の高解像度、高照度のものが必要。

送出にあたってMac並びにWindows PCの準備が必要 (1台ずつ以上)。

各スクリーンには映像送出をコントロールする機器にて個別に映像を設定する必要がある。

- ・照明は高品質な舞台用照明機器を用いてステージ演出に対応する必要がある。

また、映像収録時の照明として個別に設定が必要である。

- ・音響についても高品質なサウンドシステムと映像収録等をサポートする入出力機器が必要である。

マイクもピン型ワイヤレスマイク5本とハンド型ワイヤレスマイク3本が必要。

また、ステージ登壇者に対してのモニターが必要。

ステージ上に着座した登壇者に対してのモニターが必要 (10名程度の登壇者を想定)

- ・映像収録機材も高解像度な映像素材作成を視野に入れて高精細デジタル録画ができる機器が必要。

【セッション会場】

- ・スクリーン、プロジェクター、ピン型ワイヤレスマイク3台、ハンド型ワイヤレスマイク3台、サウンドシステム、送出用PC (演台等で使用)

使用する映像・音響・照明機器について

会場内で使用する映像機器は世界水準の機材の提供が求められる。

○欧米等で標準的に使用されている機材スペック：映像照度、映像解像度、音質、マイク性能、照明照度
これらが鮮明、明瞭で違和感が感じられず、ノイズなどが無い状況、且つ、変化に柔軟に対応できる機器、技術者を用意する必要がある。

○入出力端子の形状・種類が欧米等で標準的に使用されているものが必要。

○映像形式・信号の方式による各国間の差異を受け入れられる機材が必要。

- ・メイン会場には300インチスクリーン (16:9) とサイドスクリーン200インチ (4:3) 2面が必要。
- ・メインプロジェクターは20,000lm以上、サイドプロジェクターは12,000lm以上が必要。
(LEDウォールの設置は、他のものよりコストが大幅に増大 (1,000~1,500万円程度) することが見込まれる。また、ルガーノではLEDウォールは設置されておらず、国際会議で提供されているレベルのもので検討し、予算等の状況によりLEDウォールの設置を検討する)
- ・セッション会場を4室ほど想定しており、各室にスクリーン (使用する部屋での最大サイズ)、プロジェクター (5,000lm以上) の配置が必要。国際会議で提供されるレベルを目安に設計する必要がある。
- ・基本的なインターフェースや接続機器は、世界基準・規格で準備・設計が必要。
- ・プログラムによって必要な機材等の手配調整も必要であり、柔軟な設計をする必要がある。
- ・音響・照明機器についても世界水準の機材が必要となるが水準を満たし、且つ、会場の音響・照明設備を使用した方が利便性が高いものについては施設設備を使用して設計すること。
- ・音響・照明についてもプログラムによって調整が必要。

(5) イベントチェックイン計画

チェックイン

● チェックインの要件 (ATTA提示 Game Planより)

- ・ テーブル4台：名前バッジA-LとM-Zを配布するテーブル2台、
プログラム、ギフトバッグなどを配布するテーブル2台
- ・ 小さなテーブル1台：コンピュータ用
- ・ 椅子8脚
- ・ スタッフ12名
ATTAスタッフ6名 (バッチ配布4名、補助2名)
開催地スタッフ6名 (配布 (ある場合) 2名、案内2名、補助2名)
- ・ ロープパテーション、延長コード/電源、カードストックに印刷できるプリンター

会場：大通ビッセ1階 (札幌市中央区大通3丁目7番地 北洋大通センター)

- ・ 参加者は1階からもしくは地下2階から訪れるため、誘導サイン、誘導人員の対応が必要。
- ・ イベントチェックインはATTAが行い、実行委員会がサポートおよび配布物 (参加者用 Kitacaなど) の配布を行う。

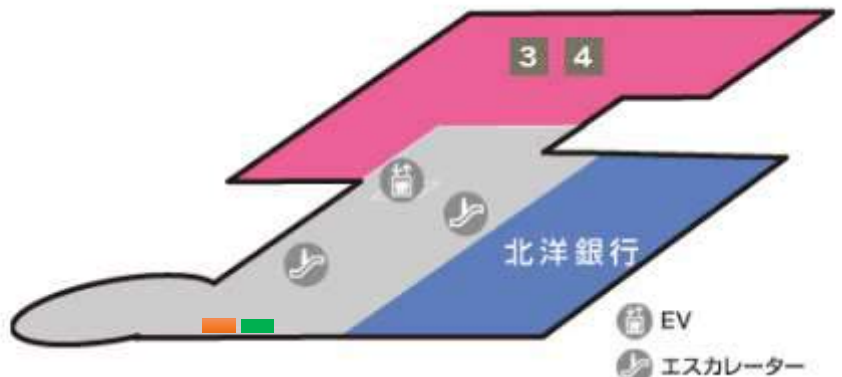
1F

- 3 町田農場
- 4 洋菓子きのとせ

■ チェックインカウンター

■ Kitaca配布

Kitaca



B2F

- 1 アインズ&トルバ
- 2 セイコーマート

地下から
案内誘導
が必要



(6) ランチ計画

● 要件 (ATTA提示契約書および Game Planより)

- ・最大800名の参加者に3回の昼食を提供する。昼食には、buffet形式の食事（サラダバー、2種類のメインコース、デザートを含む選択式メニュー、飲み物、コーヒーまたは紅茶を含むものとする）。
- ・食事は毎日異なり、地域の文化を代表するものであることが推奨される。
- ・食事はベジタリアン及びアレルギーに敏感な人に対する選択肢を含める。プレートの場合は15%のベジタリアンメニュー、buffetではベジタリアン、ビーガン、グルテン、乳製品フリーの選択肢を提供する。
- ・メニューは最終的にATTAに同意・承認されること。（2023年4月）

● その他条件・配慮等

- ・ケータリングでの提供となるが、保冷車・保温車、備品には制限が生じる。
- ・食事時間は1～1.5時間であることから、buffet台は同一のものを3～4箇所を設置し、短時間での提供をできるように配慮する。
- ・日本食を気軽に楽しんでもらい、かつ3日間バラエティーに富んだメニューとなるよう、日本の家庭料理も含めた食事メニューを提供する。道産食材をできるだけ使う。
- ・キッチンカーやランチボックスを取り入れ、楽しんでもらうことも検討する。
- ・食器・カトラリー類には使い捨てプラスチック製のものは使わない。
- ・食器等については、会場のパントリーを利用し、搬入回数を減らすよう配慮する。
- ・ベジタリアンやアレルギー対応のため、料理にはピクトグラムをつけて説明すること。

今後の検討事項

- ・ランチは3日間提供するので、バラエティーに富んだメニューや提供方法を工夫する必要がある。
- ・プログラムや会場使用計画を基にbuffet提供スペースを検討する必要がある。
- ・メニューについては、要件を満たす内容を検討し、ATTAに承認される必要がある。
- ・食器やランチボックスについては、環境に配慮したものとする必要がある。
- ・施設外の食事（キッチンカー、屋外での食事提供）については、衛生管理や関係機関との調整が必要となることを考慮し、検討する必要がある。

(7) コーヒーブレイク計画

● 要件（ATTA提示契約書および Game Planより）

- ・最大800名の参加者のために3回の軽食を提供する。
- ・終日、コーヒー/紅茶/水のサービスを提供する。
- ・軽食は、午前中と午後のコーヒーブレイクに提供する
- ・会場外の食事会場のオプションがある場合、参加者が開催都市を見て経験できることが望ましい。
- ・メニューを選択する際、目的地は特別な食事の必要性を念頭に置く必要がある。
- ・食事は15%のベジタリアンミールを割り当てるか、buffetにベジタリアン/ビーガン/グルテン/乳製品不使用のオプションを用意する。
- ・メニューは最終的にATTAに同意・承認されること。（2023年4月）

● その他条件・配慮等

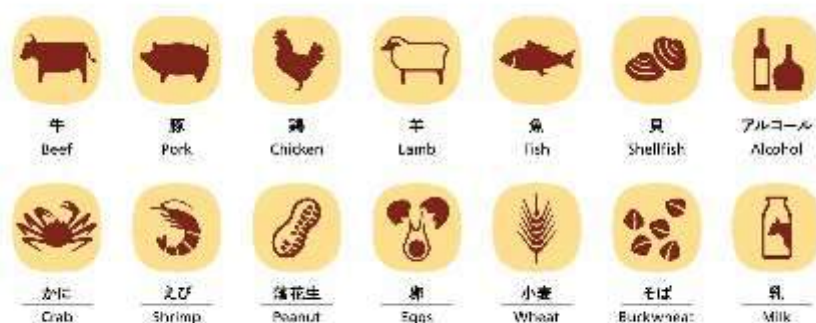
- ・コーヒーサービスには北海道銘菓やスイーツを提供するが、個別包装されていない状態で提供すること。
- ・食器・カトラリー類は環境に配慮したものを使用するとともに、個別包装されていない状態で提供すること。
- ・コーヒーブレイク時以外でも、ウォーターサーバー及びコーヒーマシン（サーバー）を設置し飲料水・コーヒー類を提供すること。
- ・飲料水の提供はペットボトルは利用不可。水道水を利用することは可能。

今後の検討事項

- ・ベジタリアン等にも配慮した軽食メニューを決定し、ATTAに同意・承認される必要がある。
- ・ウォーターサーバー、コーヒーマシン（サーバー）の設置、運用について検討する必要がある。
- ・環境に配慮した食器・カトラリー等を検討する必要がある。

(8) 食事制限等の配慮計画

Game Planに記載のあった参加者の2割相当を「ベジタリアン」「ビーガン」や食物アレルギーに対応するメニューとする。食事提供時にはあらかじめピクトグラム等を用いて参加者に対し注意を促す。



(9) おもてなしプログラム

ATWS会期中に会場及びミニツアーによるおもてなしプログラムの実施

●プログラム内容の基本的な考え方

- ・ 日本文化を体験できる内容にする。
- ・ 札幌の街の魅力を体感してもらう。

会場内での日本文化体験

茶道や着付け、書道など日本文化を気軽に体験できるように、メイン会場内での日本文化体験の企画を検討する。



ミニツアー企画

札幌の街の魅力や日本の文化を体感してもらうために、会期中にミニツアーの企画を検討。神社仏閣など独特の日本文化を訪ねたり、札幌の街の魅力を体感してもらうための街歩きやサイクリングなど、2時間程度の内容を検討する。



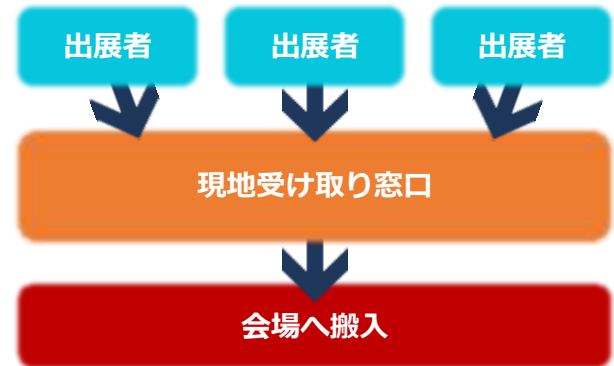
(10) 出展者のための発送方法・通関情報計画

● 出展者のための発送方法の要件（ATTA提示 Game Planより）

- ・会議開催日の少なくとも2週間前および少なくとも会議後3日まで、ATTAおよびATWSスポンサーおよび出展者から貨物を受け取るための適切で安全な保管スペースが必要。

発送・通関情報などの提供について

出展者用に受け取り窓口を選定し対応すること。
各国からの荷物を適切に会場へ搬入すること。



(11) 会場のセキュリティ計画

参加者並びに関係者の入場に際し、施設入口でパスの確認を行うこと。
一般の方が入場する可能性がある入口には必須で人員配置すること。

要人警護が発生した場合

要人警護が必要になった場合には警備レベルを引き上げることとなるため、関係機関と連携し対応が必要となる。

その場合、金属探知機の設置や周辺警備の必要性など状況に応じて準備対応を行うこと。

(12) 会期中の保険について

参加者並びに主催者に対して不慮の事象が発生した場合の保険を検討して加入する必要がある
保険の数に限りは無いが保証の範囲として少なくとも参加者、関係者、主催者に対する事故（対人・対物）の賠償を含む保険が必要。

(13) 会場のコロナ対策計画

新型コロナウイルス感染症への対策

(2023年1月現在)

新型コロナウイルス対応については世界情勢を踏まえ、対応を随時検討する必要がある。対応の基準として北海道が指し示す、業種別ガイドライン：集会場、公会堂 MICE開催のガイドラインを元にして対応方法を提案し、実行委員会と協議の上実施すること。

なお、「新型コロナウイルスの影響が避けられない場合」での開催を想定し、新型コロナウイルス感染症対策を一定程度準備する（下記は例として）。

- 入退場時の健康チェック
- 手指消毒
- 濃厚接触者特定のための位置情報取得の仕組み
- 仮設診療所の設置
- 参加者のバブル移動対応 など

(1) 感染予防対策のための管理者設置

本大会には様々な業種のスタッフが関わるために、それぞれの健康状態を管理しコロナ対策を実行する必要がある、適正な管理者を配置し、実施すること。

(例)

役割	団体(事業者)名	対策管理者	緊急連絡先
管理	実行委員会		
運営	(株)〇〇〇〇〇		
会場	(株)〇〇〇〇〇		

(2) 想定感染リスク・対策の洗い出し

各役割(事業者)毎に応じた各種ガイドラインを参考に想定される感染リスク・安全対策について事前に洗い出しを行い感染対策を行うこと。

(ガイドライン例)

役割	発行者	ガイドライン名称
運営会場	(一社)日本コンベンション協会	新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン
トラベル	(一社)日本旅館協会等	宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン
	(公財)日本バス協会等	貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン
	アクティビティツアー連絡会	アクティビティツアー向け新型コロナウイルス対策ガイドライン

(3) スタッフ健康管理表の作成

本大会にかかわるすべてのスタッフに対して、開催14日前(PSA等事前に始まるものはその日を起点にして)より健康チェックシートを用いて健康を管理し、管理者はそれを把握すること。

(健康チェックシート記載事項例)

No.	チェック項目	チェック内容	9/6	9/7	9/8
1	発熱	発熱はない (目安は平熱+1℃以上)			
2	風邪の症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない			
3	味覚・嗅覚異常	味覚や嗅覚に異常 (味がわからない等)はない			
4	けん怠感	強いけん怠感はない			



2 レセプション

(1) レセプション計画

会期中にウェルカム・オープニング・クロージングの各レセプションが開催される。このうち、ウェルカムレセプションとオープニングレセプションをATWS北海道実行委員会が主催する。特にオープニングレセプションは、大会中最大のイベントとなる。クロージングレセプションについては、ATTAの協賛者が主催となるので、会場候補地の紹介になる。

ウェルカムレセプション概要

日時：2023年9月11日(月) 17:00～20:00頃

場所：さっぽろテレビ塔（DOA受付・解散会場の大通1丁目）1階

※参加者は、DOA帰着場所から直接またはホテル等から徒歩（最寄駅：大通）

主催者：ATWS北海道実行委員会

参加者：ATWS参加者（600人程度）

オープニングレセプション概要

日時：2023年9月12日(火) 18:00～21:00頃

場所：大倉山ジャンプ競技場

主催者：ATWS北海道実行委員会

参加者：ATWS参加者、実行委員会関係者・招待者等（800名程度）

クロージングレセプション概要

日時：2023年9月14日(木) 一次会18:00～20:00頃、二次会21:00～23:00頃

主催者：クロージングレセプションスポンサー（ATTAが募集）

参加者：ATWS参加者

一次会会場候補地 ①札幌コンベンションセンター

②ZEPP SAPPORO

③サッポロビール園

二次会会場候補地 KING XMHU（キングムー）

(2) ウェルカムレセプション計画

ウェルカムレセプション概要

日時：2023年9月11日(月) 16:30～20:00頃

場所：さっぽろテレビ塔（DOA受付・解散会場の大通1丁目）1階

※参加者は、DOA帰着場所から直接またはホテル等から徒歩で移動する。（最寄駅：大通駅）

参加者：ATWS参加者（600名程度を想定）

内容：全員が一斉に集まる必要性はなく、カジュアルな雰囲気、エンターテインメントはなくて良い。

●スケジュール案 16:00～20:30

準備 16:00～16:30

実施 16:30～20:00

撤収 20:00～20:30

●会場イメージ

・既存のイベントで設置しているテント（テレビ塔直下）を中心に飲食を提供する。

●開催イメージ

- ・DOA帰着後、来場した参加者があらかじめ配布されたチケットと飲み物・おつまみを交換し、会場内で歓談しながら楽しんでもらう。
- ・主催者等挨拶はなし。
- ・ステージの設置やアトラクションは行わない。
- ・飲食後は、適宜退場。会場は最大300人程度で入れ替わることを想定している。
- ・会場内で大通公園の案内を行い、ウェルカムレセプション後にさっぽろオータムフェスト等への来場を促す。

●提供メニューイメージ

- ・ドリンク：ワイン、ビール、ソフトドリンクなどを提供する。
- ・つまみ：ベジタリアン・ビーガンに配慮したピンチョス等1種類を提供する。

●今後の検討課題等

- ・チケットの配布方法・タイミング・提供メニューを検討する。
- ・大通公園でのイベントの案内方法について検討が必要。
- ・日本円への両替が必要な参加者への案内も考慮が必要。

(3) オープニングレセプション計画

オープニングレセプション概要

ATWS北海道実行委員会が開催地として、ATWS参加者を歓迎するレセプションを、札幌を象徴する施設の一つである大倉山ジャンプ競技場で行う。

日時：2023年9月12日(火) 18:00～21:00頃

場所：大倉山ジャンプ競技場

内容：主催者挨拶、ステージアトラクション、食事(立食ビュッフェ可)等

参加者：ATWS参加者、実行委員会関係者・招待者等（約800名）

●スケジュール案

17:00～21:00

バス送迎（SCCより順次出発）

到着後ウェルカムドリンク

主催者・来賓挨拶

食事提供開始

アトラクション等

バス送迎（SCCより順次出発）

(3-1) オープニングレセプション/会場

●会場イメージ

- ・野外の雰囲気損なわないよう、参加者が寛ぎながらネットワーキングしやすい環境にする。
- ・参加者は、バス降車後、各自で会場に入場する。
- ・ケータリングエリアは、テントを張るなどし、衛生面にも考慮する。

(3-2) オープングレセプション計画/アトラクション

アトラクション

ジャンプエリアや設置したステージ等、会場で行うアトラクションを検討する必要がある。
ステージアトラクションについても、内容によるが、ステージテントを張るなどの雨天対策が必要。

施設内ゾーニング

施設の野外・屋内を広く使ったゾーニング例を以下に示す。



(3-3) オープングレセプション計画/食事

オープングレセプションの食事は、大会で最も期待されている食事であり、今後メニュー等詳細を決定する必要がある。屋外で着席は難しいことから、ケータリングで立食buffet方式での提供となる。

食事内容の考え方

●要件（ATTA提案契約書およびGame Planより）

- ・着席でbuffet形式の食事（前菜、メインコース、デザート又はサラダバー付buffet、2種類のメインコースデザートを含む選択式メニュー）飲み物、コーヒー及び紅茶を含むものとする。
- ・食事はベジタリアン及びアレルギーに敏感な人に対する選択肢を設けなければならない
通常プレートミールでは15%のベジタリアン食、buffetではベジタリアン、ビーガン、グルテン、乳製品を含まない食事を提供することで十分となる。

●その他の条件・配慮等

- ・ケータリングでの提供となるが、保冷車・保温車、備品には制限が生じる。
- ・屋外の提供となるため、衛生管理に配慮すること。
- ・食器・カトラリー類は使い捨てのプラスチック製のものを使わない。
- ・ベジタリアンやアレルギー対応のため、料理にはピクトグラム等をつけて説明すること。

今後の検討課題等

- ・メニュー内容等詳細を決定し、2023年4月にATTAに内容を提出する必要がある。
- ・ATTAから屋外のため、着席ではなく立食で可能と回答があったため、立食buffet方式での提供となる。
- ・食事提供時の演出やカトラリーなど、全体のイメージについても検討が必要である。

(3-4) オープニングレセプション計画/既存施設利用と雨天時対応について

既存施設

●アネックス棟2階レストラン「ヌーベルプース」

来賓の食事の対応が検討できる。2階からは、会場を見渡すことができる。
個室を用意することも可能で、個別会議や控え室として利用できる。

●アネックス棟1階ホール

展示やミニアトラクションの実施、参加者の飲食ができるスペースとしての利用が可能。
特に雨天時は、参加者の飲食スペースとして利用を検討する。

●ミュージアム棟

ミュージアム館の展示部分については、参加者が自由に見学できる。
2階の売店スペースについては、施設運営者と協議し、空きスペースを含め、展示や参加者の飲食スペースとして利用する。

●管理棟

アトラクション出演者の控え室、ケータリング準備の利用を予定している。
テラス部分については、札幌の夜景や会場を見渡せる場所であることから、参加者が利用できる場所として検討する。

雨天時の対応

雨天時は、設営したテントおよび、既存施設内に参加者の飲食スペースを設け、参加者が極力雨に濡れずに飲食やネットワーキングができるようする。

ステージアトラクションについても、内容によるがステージテントを張るなどの雨天対策の検討が必要。

- ・各施設の収容可能人数を把握し、足りない分は仮設テントを検討する必要がある。

(4) オープングレセプション輸送計画

SCCから大倉山、大倉山から札幌市内へのシャトルバス計画

大倉山でのオープングレセプションに合わせて必要なシャトルバス輸送を計画する。

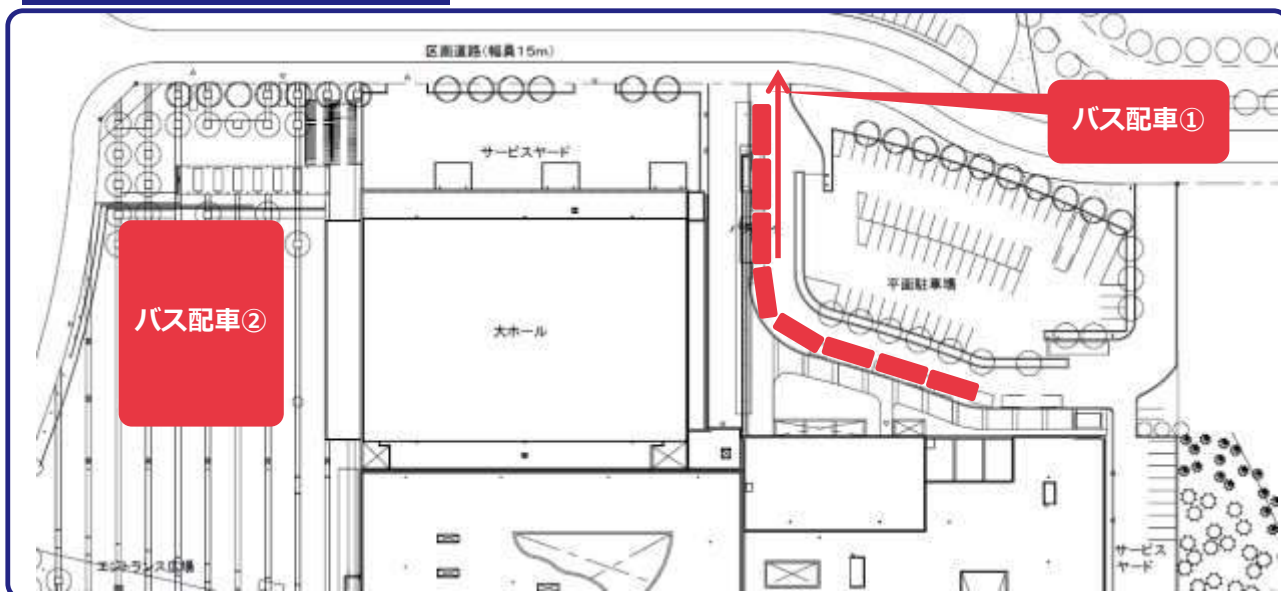
運行日：9月12日（火）

車種：大型（45名乗り）貸切バスタイプ

台数：20台（最大800名の輸送）

- ・「バス配車場所①」に先発バスを配車、待機車両は「バス配車②」に配車する。
- ・当日のプログラムが終了後、先発バス先頭車から乗車を促す。乗車人数をカウントし35名から40名乗車次第バス出発指示、待機車両を「バス配車②」より「バス配車①」へ配車。
- ・館内に残る参加者へスタッフがバス乗車を促し最終出発の目途は17:30頃の計画とする。

札幌コンベンションセンター配車場所



- ・往路は参加者の利便性を考え大通西1丁目経由とし、バススタッフを配置し乗車サポート対応を行う。乗車場所等の事前インフォメーションはATTAへ開催プログラムに記載を依頼する必要がある。なお、大通を経由するシャトルバスを限定する場合、座席確保の観点からそれぞれの出発場所の人数把握が必要なため、全車大通を経由をする計画とする。

往路ルートマップ SCC～大通西1丁目（DOA出発場所）～大倉山



(4) オープニングレセプション輸送計画

- ・復路は19:30頃から複数台を乗車場所へ配車し、35名～40名乗車次第順次出発する計画とする。
 なお、大倉山での下車、乗車場所は通常のバス駐車場ではなく、競技場に近い場所を計画するため所管する札幌振興公社との協議が必要である。

大倉山下車、乗車場所



大倉山から札幌市内中心部へのシャトルバス計画

- ・復路は参加者の便宜を図るため、大倉山～札幌駅付近～大通駅付近～TSUBAKI～すすきの付近への輸送計画とする。

※ 停車場はおおよその範囲で下記の通り計画

- ① 札幌駅：北5条・手稲通（京王プラザホテルから三井ガーデンホテル近辺）
- ② 大通駅：北大通（西1丁目、DOA出発場所近辺）
- ③ プレミアホテル-TSUBAKI-札幌
- ④ すすきの：国道36号線（メルキュールホテル近辺）



(5) クロージングレセプション計画

クロージングパーティーは最終日の夜にカジュアルな雰囲気での開催を予定しているが、ATTAが別途募集するスポンサーが主催となるので、会場候補地として紹介する。

- ・日時：2023年9月14日（木）本会議終了後

提案 1 開催場所：札幌コンベンションセンター

参加者が最も出席しやすい。

- ・住所：札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
- ・最寄駅：地下鉄東西線 東札幌
- ・ケータリング：要

提案 2 開催場所：サッポロビール園

札幌コンベンションセンターに近く、非常に美しく印象的な場所。コンベンションセンターからシャトルバスで移動すると、参加者の減少を防ぐことができる。

- ・住所：札幌市東区北7条東9丁目2-10
- ・最寄駅：地下鉄東豊線 東区役所
- ※シャトルバスの手配の検討が必要
- ・ケータリング：不要

提案 3 開催場所：ZEPP sapporo

参加者の出席が少なくなる可能性はあるが、ダンスパーティー会場であるKING XHMUに近い

- ・住所：札幌市中央区南9条西4-4
- ・最寄駅：地下鉄南北線 中島公園
- ・ケータリング：要

2次会提案 開催場所：KING XMHU（キングムー）

300人程度のダンスパーティーを想定。ダンスパーティーを開催予定。

- ・住所：札幌市中央区南7条西4丁目424-10
- ・最寄駅：地下鉄南北線 すすきの
- ・ケータリング：要



3 交通

ATWS2023開催に実行委員会として対応が必要な交通手配を下記の通り整理する（Game Planより）。

1. 完全招待者の交通手配内容

- ・ 出発地から新千歳空港までのエコノミークラス往復航空券
※PSA、Post Summit Adventure開催地最寄空港（駅）までの移動を含む（催行会社との調整が必要となる）。
- ・ 国内空港間移動のリムジンバス等往復交通機関
- ・ 新千歳空港から招待者ホテルまでの空港連絡バス等往復交通機関
- ・ 招待者ホテルから札幌コンベンションセンターまでのシャトルバス等交通機関

2. 全参加者の交通手配内容

- ・ ホテルから札幌コンベンションセンターまでのシャトルバス等手配
- ・ レセプション会場までのシャトルバス等往復交通機関
※オープングレセプションの輸送計画は「基本設定 2 レセプション」(2-5)オープングレセプション輸送計画に記載
※クロージングレセプションの輸送計画については、輸送の必要性についてATTAと協議後、対応が必要な場合別途検討する。

(1) 完全招待者の航空券手配業務について

航空券手配を日本国内の旅行会社等へ委託する場合のオペレーションは下記のように想定される。

招待者航空券手配のオペレーション

実施月	ATTA	事業受託者	実行委員会	招待者	PSA・POST 催行会社
2023年2月～4月	・招待者情報の取得			・PSAの登録	
2023年4月～6月	・事業受託者へ随時招待者情報の提供 (右記情報の把握)	・コレポンドスクの設置 ・招待者へ随時希望便等の確認、航空便の提案 ・招待者と確認が取れ次第発券、招待者へ送付	(左記情報の把握)	・事業受託者へ希望便等の伝達、パスポート情報の送付	
		・PSA,POST催行会社へ到着時間等の連絡			(招待者情報の把握)
2023年7月		・日本査証が必要な方のため書類作成、送付 ・催行ツアーの確認	(左記情報の把握)	・日本領事館へ査証申請	
			・催行ツアーの確認	・催行可否判断旅行者、実行委員会へ連絡	

※コレポンドスク：完全招待者と航空券等の手配のやり取りを直接行う窓口

(2) 成田空港等での完全招待者対応

PSAに参加する完全招待者の乗継対応について

PSAの集合場所は欧米各国と接続が少ない道内外の各地域空港が多いため、日本到着時の空港が成田や中部、関西等の場合は各地域空港へ接続ができる空港への空港間の移動が伴い、その移動費用についても実行委員会としてカバーする必要があることから、対応方法は引き続きATTAと協議・検討を行う。

なお、仙台、三島駅集合コースのJR乗車券等の手配についても同様に協議・検討が必要となる。

(ATTAと協議・検討中の内容)

- ・ 完全招待客が空港間等移動費用を一旦立替えて、札幌到着後に実行委員会が支払う。
- ・ 日本到着空港で完全招待客を待ち受けバスチケット等を直接お渡しする（委託を計画）。

(3) 新千歳空港での完全招待者対応

新千歳空港到着後、完全招待者ホテルまでは空港連絡バスの利用でATTAと合意している。その空港連絡バスチケットを受渡す手段を検討する必要がある。

なお、国際線で直接新千歳空港へ入国する完全招待者については、利便性を考慮した対応が必要となる。

(4) 新千歳空港インフォメーション計画

新千歳空港インフォメーション機能計画

参加者への利便性を考慮し、新千歳空港でのインフォメーション機能を検討する必要がある。

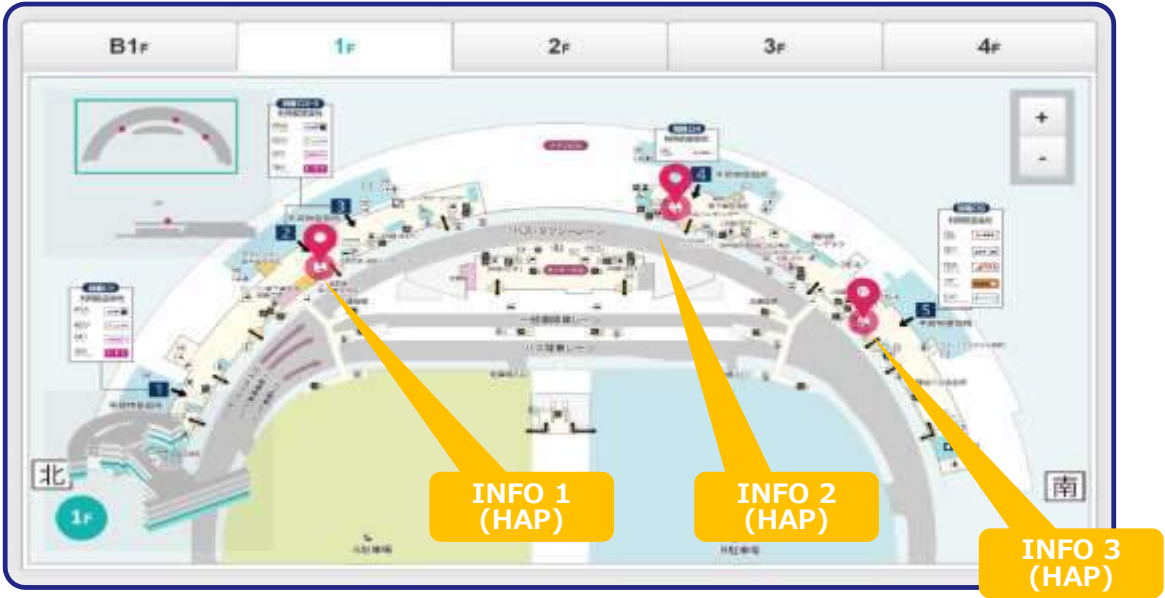
検討にあたっては実行委員会構成機関である北海道空港㈱と協議のうえ、歓迎機運を醸成する取組み等を検討する必要がある。

なお、Game Planに示されている、本州各地空港で同様の機能を考慮することは、完全招待者以外の入国情報を取得することは難しいため新千歳空港に限定した取組みとして対応とする（ATTAと合意済み）。

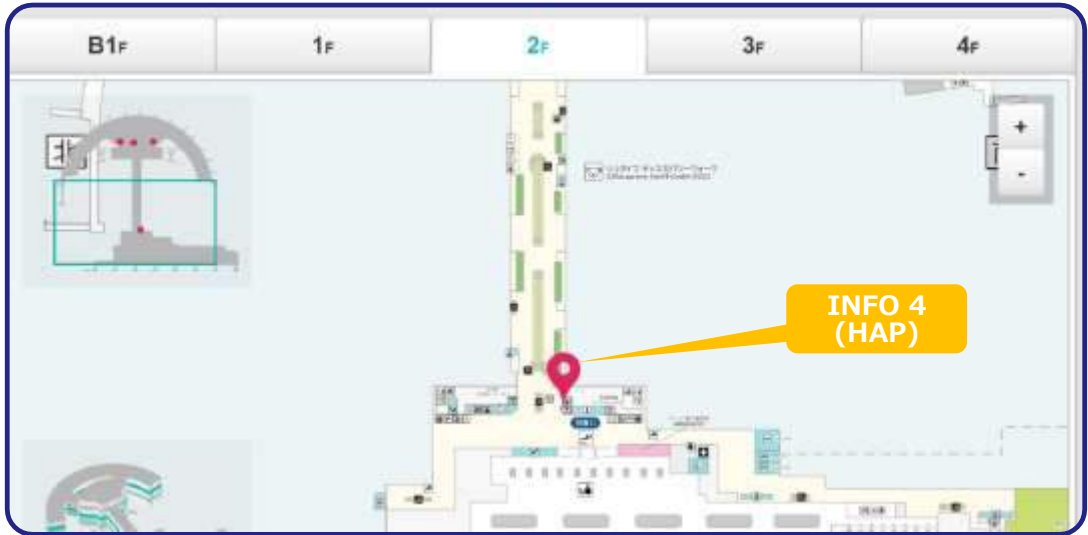
- ・ 案内所（INFO 1～4 (HAP)と標記）にて「ATWS2023」バナー掲示および乗換案内など簡易な案内を行う
- ・ サミットチェックイン場所やプログラムなどより詳細な質問に対応するインフォメーションの設置についても検討が必要。

※空港内既存のインフォメーションは次ページ参照

新千歳空港 国内線ターミナルビル 1階到着ロビーマップ



新千歳空港 国際線ターミナルビル 2階到着ロビーマップ



(5) 札幌コンベンションセンターへの輸送計画

完全招待者の輸送計画

完全招待者の札幌コンベンションセンターへの送迎は、ATTA協議・合意のもと「プレミアホテルTSUBAKI札幌」宿泊者のみ実施する計画が必要である。

※「ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園」の送迎は一般参加者と同様の取扱いで合意済み。

運行経路：プレミアホテルTSUBAKI札幌～札幌コンベンションセンター

運行期間：9月12日(火)～14日(木) 3日間

出発時間：ホテル発6:30 8:00の各1便を計画する。

車種：大型（45名乗り）貸切バスタイプ

所要時間：約10分

一般参加者の輸送計画

ATTAからの要望に基づき、実行委員会で検討した結果、完全招待者・一般参加者ともにIC乗車券「Kitaca」を配布する計画とする。

- ・チャージ金額は、札幌市営地下鉄 大通駅～東札幌駅 乗車券往復分相当額の500円の3日間分（9月12日(火)～14日(木)）である1,500円に加え、デポジット500円を加えた2,000円を最低金額としてATTAと協議を行い最終決定。
- ・デポジットの取り扱いについては「Kitaca」を発行する主体であり、実行委員会構成機関である北海道旅客鉄道株式会社と協議中。



4 アドベンチャー

(1) DOA輸送計画

DOAの出発場所は、ランドマークで中心地である「札幌テレビ塔」の要望がATTAよりあがったため札幌テレビ塔を集合・出発場所として計画する。

なお、JR利用・徒歩コースは催行会社と今後協議する必要がある。

参考：DOA各コース定員、出発・帰着時間

2022.8.19時点

No	ツアータイトル	定員	出発		帰着	
			交通手段	時間	交通手段	時間
1	アイヌの伝統・歴史・文化を学ぶカムイヌプリ軽登山ツアー	20	バス	8:30	バス	17:45
2	硫黄山登山と温泉体験でニセコの豊かな自然を体感する	16	バス	7:30	バス	18:00
3	天上の湿原 雨竜沼湿原 秘境トレッキング	25	バス	8:00	バス	18:30
4	夕張の歴史変遷トレッキングツアー ～炭鉱から観光へ～	20	バス	8:00	バス	17:30
5	小樽近郊の酒造りのルーツを辿る！天狗山トレッキングツアー	50	バス	9:00	バス	16:30
6	大雪山国立公園・黒岳ロープウェイとトレッキング	16	バス	8:00	バス	18:00
7	三笠ジオパークで北海道の開拓史を体感するガイドウォーキングツアー	40	バス	9:00	バス	19:00
8	ゼロカーボンパーク支笏湖 苔の回廊ハイキングとクリア kayak	16	JR	8:08	JR	18:57
9	十勝岳ジオパーク・アドベンチャー ハイク&バイクin富良野	15	バス	6:45	バス	18:00
10	港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング	15	JR	8:30	JR	16:15
11	ニセコアンヌプリ サイクリング&トレッキング	24	バス	7:30	バス	18:30
12	石狩の自然、歴史、サケ文化をサイクリングで体感	15	徒歩	8:00	徒歩	17:00
13	北海道開拓から続く歴史と産業をめぐる北広島サイクリング	20	JR	9:00	JR	18:20
14	札幌市南区の開拓歴史を巡るサイクリングと軽登山ツアー	15	徒歩	8:00	徒歩	17:00
15	美唄サイクリングツアーと北海道最古の酒造を訪ねる旅	15	バス	8:00	バス	17:40
16	都会の近くで発見！ウトナイ湖の大自然満喫ツアー	20	バス	8:00	バス	17:00
17	【ルスツ～洞爺湖畔】MTBツーリング ロングコース	20	バス	8:00	バス	18:15
18	千歳川1DAYリバーカヌーと世界文化遺産登録地「キウス周堤墓群」	17	JR	8:08	JR	18:43
19	積丹ブルーを体感！マリンアドベンチャー&絶景ハイキング	20	バス	8:00	バス	18:30
20	「鮭」の目線で札幌・豊平川沿いをサイクリングし、上流の定山溪でカヌー！	30	徒歩	8:00	徒歩	18:00
21	ニセコ・サステナブル・ライフスタイル～自然食&カヌー～	20	バス	8:00	バス	18:00
22	大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック又はリバーウォッチング」	50	JR	7:58	JR	18:03
23	ニセコ 尻別川ラフティングツアー	50	バス	8:00	バス	18:00
24	羊蹄山麓での水との共生／Bringing Water to Life from Mount YOTEI	20	バス	8:00	バス	17:30
25	十勝川源流地域で日本の伝統的なテンカラでオシロコマを釣る	18	バス	7:30	バス	19:45
26	アイヌとゆく歴史散策：日帰りガイド付き先住民文化ツアー	15	バス	8:00	バス	17:20
27	白老アイヌ文化体験とポロトの森ハイキング	24	バス	8:00	バス	18:00
28	今と昔を歩く札幌中心部のアイヌ文化ガイドツアー	30	徒歩	9:00	徒歩	16:30
29	世界が繋がる！アイヌパッチワークと文化交流	25	バス	9:00	バス	17:30
30	岩宇地区 100年変わらない山と海の暮らし体験ツアー	25	バス	8:00	バス	18:00
31	渡り鳥の視点で旅する石狩川～空知ラフティングとグライダー	12	バス	8:00	バス	18:00
		718				

札幌テレビ塔 集合場所



- ・ 集合場所：札幌テレビ塔（大通公園1丁目）
 ※集合場所としての申請が必要か実行委員会メンバーである札幌市が所管部署へ確認対応が必要。
- ・ バス配車場所：北大通（出発の15分前配車）
 ※占有ができませんため他団体のバスが紛れる可能性があり、「バス配車②」のバス駐車場を利用を検討する必要があります。
 ※現状で「8:00出発が14コース」ありこの時間帯は「バス配車②」を利用する計画が必要なため、事前の予約が可能か駐車場事業者へ確認をする対応が必要。
- ・ 帰着場所：出発場所と同様に札幌テレビ塔を帰着場所とする。
 ※ 帰着時の経由地(札幌駅、TSUBAKI 等)は実行委員会にて検討のうえ各催行会社へ通知する必要があります。

DOA出発時のオペレーション

実施月	ATTA	実行委員会	DOA催行会社	参加者
2023年5月	・DOA募集開始	・集客状況の把握、催行会社へ連絡	・集客状況の把握	・DOA予約
2023年6月	・実行委員会へ集客状況報告	・集客状況の把握、催行会社へ連絡	・集客状況の把握	・DOA予約
2023年7月	・DOA締切集客状況を実行委員会へ報告	・集客状況の把握、催行会社へ連絡 ・ATWS2023公式ロゴデータをもとに、統一サインボード制作 ・利用バス会社、添乗員名、連絡先など催行情報シート作成、各催行会社へ連絡	・集客状況の把握 ・催行可否判断旅行者、実行委員会へ連絡	・DOA予約 ・催行可否を受けての変更
2023年8月上旬		・集客状況の把握、催行会社へ連絡 ・催行ツアーの確認 ・バス利用ツアーの配車計画策定 ・サインボード、ツアー番号、集合時間、集合場所情報を催行会社へ報告	・集客状況の把握	
2023年8月中旬		(右記情報の把握)	・ミートサイン、ツアー番号、集合場所、集合時間を旅行者へ連絡・催行情報シート作成、実行委員会へ連絡	(左記情報の受取)
2023年8月下旬		・バス配車時間、配車場所、方法などを催行会社へ連絡	・バス会社へ配車時間等の連絡	
2023年9月11日		・全体把握 ・バス配車オペレーション ・催行会社へ出発指示	・参加集合チェック、受託会社へ報告	・サインボードを確認のうえ15分前集合



5 ホテル

(1-1) 招待者(93名)の宿泊計画**招待者93名のホテル確保 (9/10~9/14 5泊)**

招待者ホテルについては、ATWS2023北海道開催前日の9/10(日)～最終日9/14(木) 5泊分を実行委員会として確保する対応が必要となる。

※上記93名に含まれるATTA/ATWS運営チーム25名分については、9/9(土)～9/16(土) 8泊分の確保が必要。

● 確保ホテルの要件 (ATTA提示 Game Planより)

- ・会場からシャトルバスまたは公共交通機関で短時間の距離にある4つ星または5つ星ホテル。
- ・複数軒(おおむね5軒以下)に分宿となっても問題はないとされているが、実行委員会のオペレーション上できる限り纏めた方が望ましい。
- ・ATTAの理念上、できる限りSDG'sを意識したサステイナブルな運営に取り組むホテルを選定することが望ましいが、札幌市内のホテルにおいて先進的な事例が少ないために実施準備の段階で、選定したホテルとの綿密な打合せが必要となる。

● 欧米を中心とした国際会議開催時の一般的なホテル選定の要件

- ・最寄空港からのアクセスの良さ：所要時間よりも乗換回数が少ない方が喜ばれる。
- ・朝食開始時間が一般的に早い：6:00頃～朝食が取れるホテルが好まれる。
- ・自然環境に恵まれている：朝に散策やランニングをされる方が多いため、付近に公園やマラソンコースがあるような立地が喜ばれる。
- ・部屋の広さは20㎡以上が基本：
一般的に国際会議は長期滞在となることから国内ビジネスホテルで利用するシングルルームの広さでは不便さを感じることが多い。
- ・ベジタリアンメニューなど外国人対応が可能。

以上の要件とATTA理事等の宿泊実績がある「プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌」を招待者ホテルとして計画し、2022年11月に実施したATTA視察調査の際も宿泊先として選定した。

その際、参加者用ホテルの視察を行ったが「ザ ロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園」のサステイナブルな取組と北海道らしさを意識したコンセプトについて高い評価があり、招待者ホテルとして検討して欲しい旨の要望があがったため、「プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌」および「ザ ロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園」を招待者ホテルとして計画する。

● 招待者用選定ホテル

- ・プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌 (63室) 主にバイヤー、ATTAメンバーが宿泊する。
- ・ザ ロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園 (30室) 主にメディアが宿泊する。

● 招待者用ホテルの確保条件 (今後ATTAと協議が必要)

- ・2023年6月1日：宿泊者リストの提出 ※予約数の80%以上保証が必要。
- ・2023年7月1日：※上記確保数の80%以上の保証が必要。
- ・2023年8月1日：※上記確保数の90%以上の保証が必要。

(1-2) 招待者(93名)の宿泊ホテル

プレミアホテル-TSUBAKI-札幌

住所	〒062-0904 北海道札幌市豊平区豊平4条1-1-1
T E L	011-821-1111
U R L	https://tsubaki.premierhotel-group.com/sapporo/
総客室数	296室 スタンダードタイプ 36㎡～40㎡

下記日程にて予約対応が必要となる。

- ・ 9月9日(土) 25部屋
 - ・ 9月10日(日)～14日(木) 63部屋
 - ・ 9月15日(金)～16日(土) 25部屋
- 朝食時間7:00～ 12日(火)・13日(水)・14日(木)の3日間は5:30～として計画する。

Game Planにあるサミット会場(札幌コンベンションセンター/SCC)までの移動負担については、ATTAと協議し「プレミアホテル-TSUBAKI-札幌」については下記の日時・台数にてシャトルバスを提供する計画とする。

- ・ 9月12日(火)～14日(木) 3日間 6:30ホテル発SCC行き 1台 8:00ホテル発SCC行き 1台(45名乗り大型バス)

ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園

住所	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西1-12
T E L	011-208-1555
U R L	https://www.royalparkhotels.co.jp/canvas/sapporoooripark/
総客室数	134室 19.4㎡～47.8㎡

下記日程にて予約対応が必要となる。

- ・ 9月10日(日)～14日(木) 30部屋 (キャビンフロア9階～11階)
- 朝食時間7:00～

招待者ホテルのサステイナブルな取組みについて

プレミアホテル-TSUBAKI-札幌

- ・プレミアホテル-TSUBAKI-札幌は都市型ホテルのためフルサービスを期待される宿泊者が多く、サステイナブルな取組みについて先進的な取り組みを行っているわけではないが、ATWS2023関係者の宿泊を迎え入れるために、他の旅行者へ影響が出ない範囲内で取組みを始めている。

- ・ハイブリッド型客室アメニティの利用

もみ殻を配合した原料を使用したアメニティを設置。プラスチック使用料を従来品から約40%削減し、利用するプラスチックも100%再生原料を利用。「プラスチック使用削減」と「資源循環」を組み合わせた環境負荷低減ハイブリッド製品を設置。



- ・レットカップキャンペーンの実施

三本コーヒーの「SUNSHINE COFFEE」をホテル内に設置し、売り上げの一部をWFPを通して途上国の子供に届け飢饉を無くすSDG'sの取組みを行っている。



ザ ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園

- ・CANVAS札幌大通公園は、三菱地所グループの技術を結集して、外観・構造・内装等、全フロアのできる限り北海道産の木材を使用した、国内初の高層ハイブリッド木造ホテル。

北海道らしい、香り。札幌という都市部にありながら、北海道の大自然を感じられる、木の香りがあふれる空間をおたのしみいただける。

- ・環境配慮型建材「CLT」

CLTは構造躯体として建物を支えると共に、断熱性や遮炎性、遮熱性、遮音性などの複合的な効果も期待できる。木の表面をそのまま見せて用いると、木目や木の肌触りを感じる心地のいい空間ができる。また、木材は持続可能な循環型資源であり、森林資源を有効活用した省CO2型の建物を建てられる。外観・内装・構造において、北海道産の木材や石材・土などを建材として用いることで、地産地消を実践する意義を見出す。また、サステナブルな開発を推進すべく建材端材の有効活用を実施する。



北海道タモを使用した、エントランスゲート・2Fラウンジ天井・吹き抜け「木の階段」

札幌軟石を使用したフロントカウンター

アメニティはフロント前の「CANVAS PICKUP」で必要なものだけを。バイオマス製品シントワールド「エコアメニティシリーズ」は、米粉を配合した原料や再生プラスチックを使用しており、包材も紙製のため環境に配慮した製品で、ヘアブラシ・シャワーキャップ・歯ブラシはバイオマスマーク40を取得。

(2) 参加者ホテル計画

一般参加者用のホテルは、ホテル（旅行会社）と参加者が直接契約を締結するため実行委員会は介在しないが、Game Planで示されている通り参加者利便を考慮し予約先の情報を提供する必要がある。

- ・札幌コンベンションセンターから公共交通機関等で短時間の距離にあるホテル
- ・3つ星～4つ星（スタンダード・スーパーリア）とし価格にバリエーションを持たせ競争力のある宿泊料金を設定する。
- ・参加者が使用できる割引コードや予約リンクを提供し、英語予約が可能である。
- ・EU一般データ保護規則（GDPR）の対応を行うこと。



6 情報提供

(1) トラベルインフォメーション計画

・ATWS2023ホームページにリンクさせる北海道インフォメーションは、新たに構築することをせず北海道観光振興機構の英語ページ(LOVE HOKKAIDO)および札幌市観光インフォメーション等の提供を検討する必要がある。

(2) 日本査証（ビザ）取得サポート計画

日本入国時に査証（ビザ）が必要な国籍者のためのサポートの検討が必要となる。

入国時にビザが必要な国籍(は外務省のビザ免除国・地域(短期滞在)をページ(ATWS2023ホームページ)にリンクさせ記載国以外はビザが取得が必要な事を促す計画とする。

https://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/short/novisa.html

- ・ 実行委員会として準備が必要な書類は「招待状」（任意様式）、「身元保証書」「招へい理由書」「滞在予定表」となり、本書類を予め記載し本人へ送付が必要がある。
- ・ 偽装申請防止の観点から、予め申請をする要件が必要となりATTAと協議が必要となる。
 <要件の協議案（申請者が招待者ではない場合）>
- ・ ATWS2023期間中に新千歳空港まで予約された発券済みのEチケットの記録
- ・ 札幌市内宿泊予約の記録
- ・ ATWS2023参加登録の記録





7 VIP対応

8 スタッフ

9 ATWS2023 道民周知

VIP対応計画

VIP対応について

VIP対応を整理・把握し、対象者の一人一人を漏れなく対応すること。
対応すべき招待者に合わせて導線、アテンド方法を決定。
導線計画を検討し、対象者をスムーズに誘導すること。

知事・市長・国関係の来賓に関しても来場時間の把握、来場方法の確認を行い控室や会場への誘導すること。
また、同行者の方々の待機場所の確保、駐車スペースの確保も必要。

来賓の方々は参加登録と別の来場管理が必要。

上記の対応が整理された招待者一覧を作成し、現地で漏れなく対応確認を進め、スムーズに対応すること。

各種控室想定	
ブリーフィングルーム1~3	国・道・市 控室
ブリーフィングルーム4	ATTA幹部控室
応接室1・2	大臣・知事・市町村控室
特別応接室	経済団体長・関連団体幹部控室

(1) スタッフ配置計画

運営スタッフについて

運営スタッフについて下記のような種別でのスタッフをプログラムに合わせて配置すること。
 参加者対応のため、語学対応がしっかりと出来るスタッフを揃え、特に登壇者や参加者とやりとりが多くなるポジションには対応力が高いスタッフを配置すること。

ATWS2023スタッフ種別と概算人数（例）

種 別	ポスト
運営統括ディレクター	1
アシスタントディレクター	2
招待者担当ディレクター	1
参加受付ディレクター	1
会場ディレクター	4
アシスタントディレクター	4
映像オペレーター	14
マーケットプレイス担当ディレクター	2
メディア対応ディレクター	1
受付スタッフ ※イベントチェックイン兼務	12
誘導スタッフ	10
招待者対応スタッフ	4
会場スタッフ	8
感染対策スタッフ	12
控室担当スタッフ	8
警備スタッフ	18
救護スタッフ	2

(2) ボランティアスタッフ配置計画

ボランティアの考え方

大会ボランティアに従事するスタッフは、単なるスタッフではなくATWSというフィールドでの経験を将来の北海道観光事業へ還元できる人材を集める。

●今後の流れ・やるべきこと

- ・協力機関への依頼：下記募集対象大学への説明と交渉
- ・ボランティア勉強会・説明会
- ・ボランティアマニュアルの作成
- ・フィードバック詳細についての検討・決定

募集対象

「観光分野」を研究対象としている北海道内大学生を中心に、募集を検討すること。

対象大学（想定）：北海道大学、北海商科大学、札幌国際大学、北海道文教大学 等

所属

実行委員会直属とし、現場の指示はATTAスタッフか実行委員会から受けることを想定。

活用方法

ATWS参加者とコンタクトしやすく、会場の空気感がよく理解できるエリアを中心に配置を検討すること。

配置場所（想定）：受付デスク、MarketplaceやMedia Connect(誘導)、ランチや休憩会場

配置例

種 別	ポスト	ボランティア
受付スタッフ ※イベントチェックイン兼務	12	6
誘導スタッフ	10	6
会場スタッフ	8	4
感染対策スタッフ	12	0
控室担当スタッフ	8	4
警備スタッフ	18	10
合計	68ポスト	30名予定

(企画提案) 5月～8月まで4ヶ月間で集中的にイベントを企画開催

道民にひろくATWS2023北海道・日本の開催やアドベンチャートラベルについて関心を持ってもらうために、開催までに集中的な周知イベントや媒体を通じた告知を行うことを検討する。

●道民周知に対する考え方

- ・道民に周知するために対象を分けたイベント等の企画を展開。
- ・「体験」「コラボ」をキーワードに対象にそった企画を展開。
スポンサーやメディアとのコラボ企画を検討する。
- ・メディア（プレス）を巻き込み、ATWSおよびATの露出を図る。